# 地域のことは地域で守る
## ～巨瀬町の取り組み～

地域での防災活動に力を注いでいる巨瀬町の取り組みについて、上森俊典さんと野口史郎さんにお話を伺いました。

巨瀬地区社会福祉協議会 会長
**上森（うえもり） 俊典（としのり） さん**

### 2月9日は「防災の日」

巨瀬町では、2月9日を「防災の日」と定めて毎年防災避難訓練を実施しています。7年前から始まり、今年で6回目の開催となりました。

「自分のことは自分で守る」「地域のことは地域で守る」を防災目標に、巨瀬地区社会福祉協議会の主導で、民生委員や福祉委員が中心となり地域防災に取り組んでいます。

### 町民の約半数が参加

災害はいつ発生するか分かりません。そのため、2月9日が平日でも訓練を行うようにしています。今年の訓練は平日の開催にもかかわらず、自宅や職場での安否確認も含め、巨瀬町民の約半数にあたる495人が参加しました。

これは、毎年行ってきた防災訓練が町民の防災意識を高めている結果だと考えています。

### 防災訓練の新たな試み

これまでに開催した訓練は、地域市民センターなど避難所への避難や食糧の炊き出し、講話など防災意識を高めるようなものでした。

その中で、今年は「大雨」を想定したより実践的な訓練を行いました。

巨瀬まちづくり推進委員長
**野口（のぐち） 史郎（しろう） さん**

訓練内容は次のとおりです。

①大雨による災害発生を想定し自宅から各集会所（町内21カ所）へ避難する・巨瀬地域市民センターに災害対策本部を設置し、食糧を各避難所へ届ける

②各集会所へ避難後、その場所が避難場所として適切かどうか、災害発生時に避難場所へ行くのと自宅に居るのはどちらが安全か、避難所付近で道路が通れなくなりそうな箇所があるかなどを話し合う

③空き家や要支援者の住家、土砂崩れなど危険な箇所を②と併せて地図にシールを貼る

この訓練によって、災害が発生した際にどのように行動をすればよいかを話し合い、個人や地域での対応についてそれぞれ考えることができました。また、訓練で得た情報により各地域ごとの「防災福祉マップ」を作成しました。

### 防災福祉マップ

「防災福祉マップ」とは、各集会所での防災訓練の際にシールを貼った地図を巨瀬まちづくり推進委員会でデータとして整理し、地図として取りまとめたものです。今年2月の防災訓練時に作成した巨瀬町全体の防災福祉マップが、平成30年7月豪雨の際には被害箇所の把握や復旧の優先順位に大変役立ちました。

防災福祉マップは毎年訓練前に更新し、各集会所に配布することとしています。

黄色い安否確認の旗

防災福祉マップに情報を記入

平成30年7月豪雨時の様子を語る

### 7月豪雨時の対応

平成30年7月豪雨時の断水の際は、1人暮らし世帯などへの水の配布や給水応援として補助タンクを設置するなど、町民が率先して支援を行いました。これは、巨瀬町の防災目標である「自分のことは自分で守る」「地域のことは地域で守る」という自助と共助の意識が高いことによるもので、日ごろの取り組みの成果だと考えています。町民の避難も、今年行った訓練のおかげでスムーズに行うことができました。

また、自宅が安全と判断し避難しなかった世帯も202世帯ありましたが、非常時のために作成した連絡網や民生委員の「一人も見逃さない運動」で作成した要支援者リストのおかげでスムーズに安否確認を行うことができました。

### 今後に向けて

#### 個人情報の共有化を図る

今回の災害の反省点として、携帯電話がつながりやすいことから、町内会長と福祉委員の携帯電話番号を把握しておくべきだったという意見がありました。

また、要支援者の自宅には家族など緊急連絡先が記載されている「あんしんメモ」を置くようにしていますが、近所の支援者も記載しておけば、よりスムーズに安否確認ができたかもしれません。

巨瀬町　資料2

あんしんメモ

平成 29年 12月　日 作成

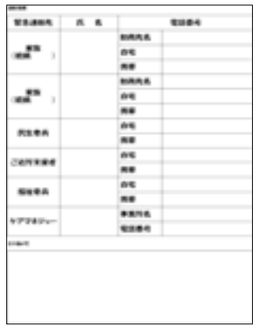
| | | |
|---|---|---|
| 警察署（パトカー・交通取締） | 110 | 24時間受付 |
| 消防・救急（救急車・火事） | 119 | 24時間受付 |
| 巨瀬地域市民センター（夜・休日・土・日の場合・緊急時） | 25-0001 | 平日 8:30～17:15 |
| あんしんでんわ（こころの悩み相談） | 0120-778-553 | 24時間受付 |

記入者　　作成年月日　年　月　日

町内会名

| | | | |
|---|---|---|---|
| ふりがな | | 明・大 昭・平 年 月 日生 満年齢 | |
| 氏名 | | | |
| 住所 | | 電話番号 | |
| ひとりぐらし 病院名 | | 電話番号 | |
| 家族構成 | 有・無 | 居合場所 | |
| 介護認定 | 有・無 | 区分 | |

あんしんメモ　表面



| 緊急連絡先 | 氏名 | 電話番号 |
|---|---|---|
| 家族（続柄　） | | 勤務先名 |
| | | 自宅 |
| | | 携帯 |
| 家族（続柄　） | | 勤務先名 |
| | | 自宅 |
| | | 携帯 |
| 民生委員 | | 自宅 |
| | | 携帯 |
| ○○自治会長 | | 自宅 |
| | | 携帯 |
| 福祉委員 | | 自宅 |
| | | 携帯 |
| ケアマネジャー | | 事業所名 |
| | | 電話番号 |

あんしんメモ　裏面

さらに、民生委員や町内会長が「あんしんメモ一覧表」を保持し個々の状況を把握することで、安否確認に加え避難を速やかに行うことができると考えています。

このことから、地域住民の情報をある程度把握することが必要と考えており、「個人情報の共有化」を新たな目標として設定しました。

#### 安否確認の旗を配布

今年度は巨瀬町の全世帯に「安否確認の旗」を配布する予定です。

これは、災害発生時に自宅で安全に過ごしている人が黄色い旗を家の前に掲げることで、安否が一目で分かるものです。

今年の防災避難訓練では、町民の安否確認完了までに約2時間半を要しましたが、これを1時間以内にするために黄色い旗を導入します。運用方法などについては町民に説明をしていく予定です。

#### より実践的な訓練を

現在の防災避難訓練は、「住民が早く避難する」ことに重点が置かれています。今後は、被害状況の把握や情報の共有、避難所などで1～2カ月間生活できるような環境づくり、また、後世のために災害の記録を残すなど、災害発生後を想定した訓練も必要ではないかと考えています。

いつ起こるか分からない災害に備えて、より一層自主防災活動に取り組んでいきたいと思います。